

明海大学 不動産学部

# 不動産の不思議

学生たちの視点と発見

第160回

## 【学生の目】

古着を買いに行くために、東京地下鉄東西線葛西駅に降りた。地下鉄といってもこの辺りは高架だ。高架のプラットホームから降りて改札を出るとすぐ、地下駐輪場の出入り口があった(写真)。高架

## 地下の駐輪場

駐輪場を地下に設けるメリット

日本一の収容台数だ。江戸川区が設置し、運営は民間会社に委託している。

強化され、関心が高まっていることから、中に入れてみることにした。地下駐輪場は広い構内に自転車は整然と並べられていた。収容台数は9400台で、乗降客数9万4000人の1割が自転車利用と仮定して決定した。インターネット情報では

脱が快適に行える。地下であり、暑い季節や寒い季節の気温や日差しが地上より緩和され、発着時の準備や片付けも快適に行える。

デメリットは、自転車を降りて斜路を昇降する必要がある、出入りに時間がかかる、建築費

がかかることである。デメリットを解決するために、自転車専用のエレベーターが設置されていた。また、



高架の地下鉄駅前にある日本一の規模を誇る地下駐輪場

の地下鉄に乗るために地下の駐輪場に入る組み合わせが意外だった。

# 自転車と共存するための施設

地下の駐輪場に馴染みがない私は、利用者が多いことも印象的だった。15年6月1日の道路交通法改正により、自転車利用の取り締まりが

は、駅前の人通りの多い場所の放置自転車が減って通行がスムーズ、街並みの景観が良くなる、放置自転車を処分する行政費用が減る、自転車泥棒がなく治安が良い、放置自転車のカゴにゴミが捨てられて美観を損ねる悪循環がない、地上の駐輪場スペースを緑地や店舗に利用でき景観

斜路には、踏面が広く、蹴上げが低い階段が併設され、高齢者や子供でも気軽に利用できる配慮があった。さらに、入り口のデザインが軽快で、地下への入り口という重苦しい印象がなく、むしろ入ってみたい気持ちになる。

放置を解消するためのトラック上に積み上げられた大量の自転車を見るのは愉快ではない。放置に不法を移動に税金の無駄使いを感じる。マナー向上だけに期待しては100年河清を待つが如きで、投資で解決を図る方法に若者は未来を感じる。



佐藤 寿哉  
不動産学部2年

た、屋内であり、雨の日の合羽の着

自転車をつまく使う社会を実現するために、区は他の努力もしている。例えば、歩道に自転車専用路を作り、

【教員のコメント】